

confidential

運営推進会議

*Long-term
care services
wholeheartedly*

© 2022 ARIGATO Inc

令和6年3月27日 18:30~19:15

目次

- 1 開会のあいさつ
- 2 運営推進委員紹介
- 3 議事
 - ① 事業継承の経緯及び弊社の状況
 - ② 入居者状況
 - ③ 人材の獲得と処遇改善
 - ④ R6年度報酬改定について
 - ⑤ 名称・入居費用の変更について
 - ⑥ 運営指導指摘事項と再発防止策について
 - ⑦ 食事の提供について
 - ⑧ その他
- 4 意見交換
- 5 次回開催日程について
- 6 閉会のあいさつ





2. 運営推進委員紹介

アトピア

運営推進会議とは

(地域との連携等)

第三十四条 指定地域密着型通所介護事業者は、指定地域密着型通所介護の提供に当たっては、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者、指定地域密着型通所介護事業所が所在する市町村の職員又は当該指定地域密着型通所介護事業所が所在する区域を管轄する法第百十五条の四十六第一項に規定する地域包括支援センターの職員、地域密着型通所介護について知見を有する者等により構成される協議会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。ただし、利用者等が参加する場合にあっては、テレビ電話装置等の活用について当該利用者等の同意を得なければならない。）（以下この項において「運営推進会議」という。）を設置し、**おおむね六月に一回以上**、運営推進会議に対し**活動状況を報告**し、運営推進会議による**評価を受ける**とともに、運営推進会議から**必要な要望、助言等を聴く**機会を設けなければならない。

2 指定地域密着型通所介護事業者は、前項の報告、評価、要望、助言等についての記録を作成するとともに、当該記録を公表しなければならない。

3 指定地域密着型通所介護事業者は、その事業の運営に当たっては、地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行う等の地域との交流を図らなければならない。

4 指定地域密着型通所介護事業者は、その事業の運営に当たっては、提供した指定地域密着型通所介護に関する利用者からの苦情に関して、市町村等が派遣する者が相談及び援助を行う事業その他の市町村が実施する事業に協力するよう努めなければならない。


5 指定地域密着型通所介護事業者は、指定地域密着型通所介護事業所の所在する建物と同一の建物に居住する利用者に対して指定地域密着型通所介護を提供する場合には、当該建物に居住する利用者以外の者に対しても指定地域密着型通所介護の提供を行うよう努めなければならない。

出典：指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準



運営推進委員紹介

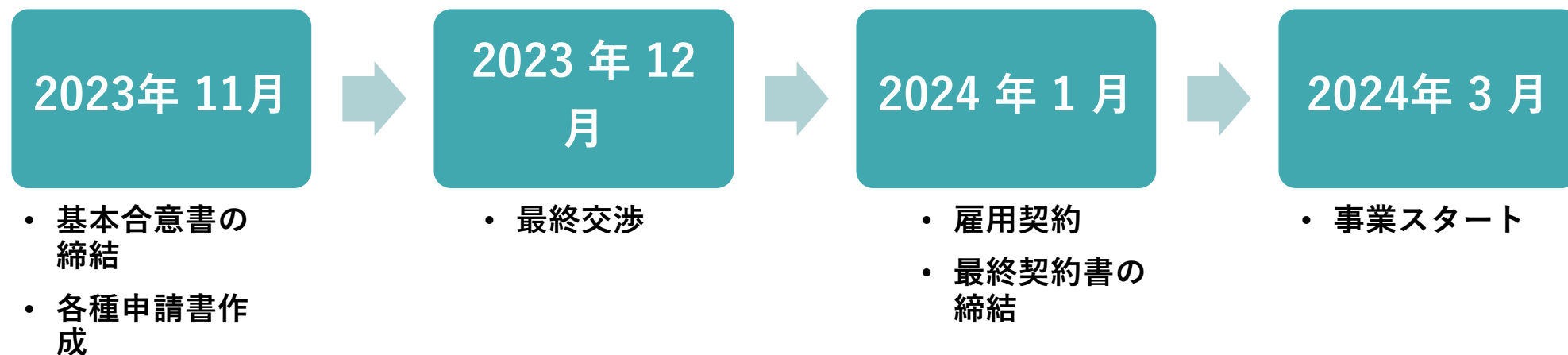
氏名	所属
A 氏	管理者
B 氏	職員代表
C 様	家族代表 (欠席)
D 様	集落長
E 様	民生委員
F 様	中種子町役場 地域福祉課
G 様	中種子町地域包括支援センター



3.議事

アトリス

事業継承の経緯

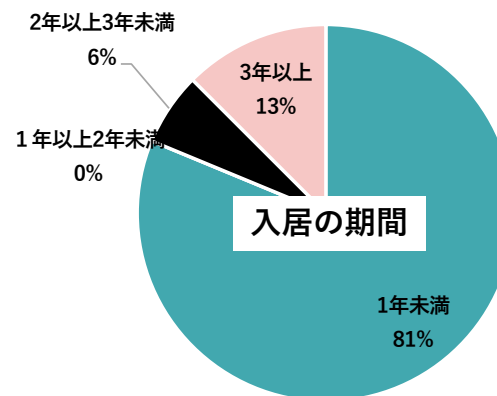
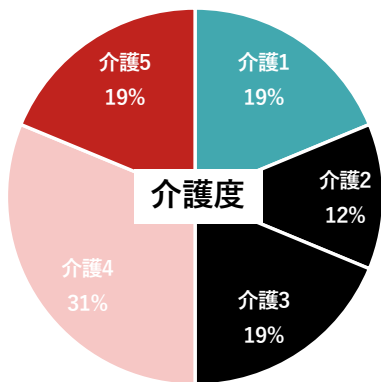


弊社の概況

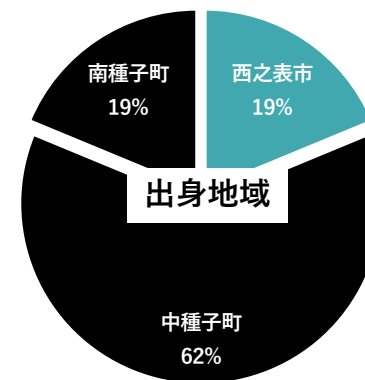
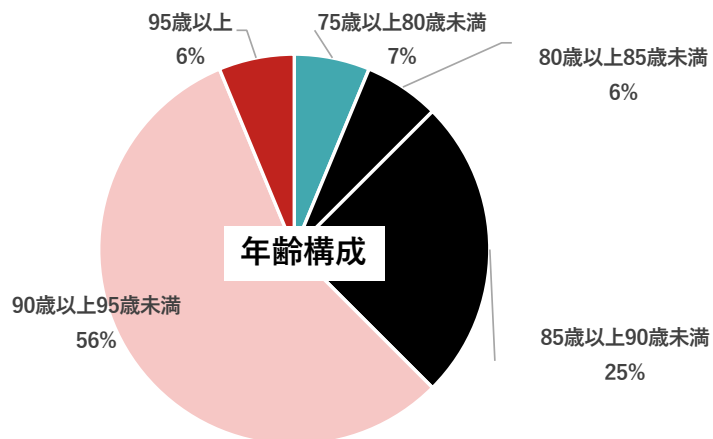
名称	カブシキガイシャ プロ 株式会社 PRO	
主たる事務所の所在地	〒891-3111 鹿児島県西之表市西町36番地	
連絡先	電話番号	0997-23-0723
	FAX番号	0997-28-3728
	メールアドレス	koito@kaigo-arigato.com
	HPアドレス	https://kaigo-arigato.com
代表者	氏名	服部 真
	職名	代表取締役
設立年月日	平成21年5月25日	
主な実施事業	介護保険：訪問介護・居宅介護支援・訪問看護 地域密着通所介護 障がい：居宅介護・重度訪問介護 サービス付き高齢者住宅 拠点：西之表市・中種子町・鹿児島市・西宮市	



入居者状況



最短入居期間者：0ヶ月
最長入居期間者：7年2ヶ月



職員の状況

資格名	拠点名	職員数
介護支援専門員	種子島	5
	鹿児島	1
介護福祉士	種子島	12
	鹿児島	2
	西宮	3
介護職員初任者研修終了者 (ヘルパー2級含む)	種子島	10
	鹿児島	3
	西宮	5
実務者研修修了者 (ヘルパー1級含む)	種子島	2
	鹿児島	0
	西宮	2
看護師(准看護師含む)	種子島	5
	鹿児島	4
無資格	種子島	11
	鹿児島	1

特徴：

- 訪問介護や訪問看護・居宅介護支援等、資格を有していなければサービス提供ができないサービスのみであったため、有資格者が多い。
- 特定行為(胃ろうや痰の吸引)が可能な職員が多数おり、県内でもトップの在籍数である。
- 訪問介護は特定事業所加算Ⅱ（種子島・鹿児島）、種子島の居宅介護支援は特定事業所加算Ⅰを算定している。そのため、研修計画やその実施等が充実している。
- 処遇改善加算は、全事業所で最上位加算を算定しており、職員の処遇改善を図っている。
- 専門職の求人は困難を極めているが、人事部を設置し、indeed等を通じ行なうことで、島内のみならず島外への発信も行なっている。
・・・など。



R6年度報酬改定について

地域密着型通所介護		
要介護1	750単位⇒	753単位
要介護2	887単位⇒	890単位
要介護3	1,028単位⇒	1,032単位
要介護4	1,168単位⇒	1,172単位
要介護5	1,308単位⇒	1,312単位

イ 地域密着型通所介護費 (1日につき)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3～4時間未満	416単位 (415)	478単位 (476)	540単位 (538)	600単位 (598)	663単位 (661)
4～5時間未満	436単位 (435)	501単位 (499)	566単位 (564)	629単位 (627)	695単位 (693)
5～6時間未満	657単位 (655)	776単位 (773)	896単位 (893)	1013単位(1010)	1134単位(1130)
6～7時間未満	678単位 (676)	801単位 (798)	925単位 (922)	1049単位(1045)	1172単位(1168)
7～8時間未満	753単位 (750)	890単位 (887)	1032単位(1028)	1172単位(1168)	1312単位(1308)
8～9時間未満	783単位 (780)	925単位 (922)	1072単位(1068)	1220単位(1216)	1365単位(1360)

サービス区分	(夜間対応型)訪問介護、定期巡回	(予防)訪問入浴介護	(地密)通所介護	(予防)通所リハビリテーション	(地密)特定施設入居者生活介護	(予防)認知症対応型通所介護	(看護)小規模多機能型居宅介護	(予防)認知症対応型共同生活介護	(地密)介護福祉施設、(予防)短期入所療養介護(老健)	保健施設、(予防)短期入所療養介護(老健以外)	医療院、(予防)短期入所療養介護(老健以外)
新加算Ⅰ	24.5%	10.0%	9.2%	8.6%	12.8%	18.1%	14.9%	18.6%	14.0%	7.5%	5.1%
新加算Ⅱ	22.4%	9.4%	9.0%	8.3%	12.2%	17.4%	14.6%	17.8%	13.6%	7.1%	4.7%
新加算Ⅲ	18.2%	7.9%	8.0%	6.6%	11.0%	15.0%	13.4%	15.5%	11.3%	5.4%	3.6%
新加算Ⅳ	14.5%	6.3%	6.4%	5.3%	8.8%	12.2%	10.6%	12.5%	9.0%	4.4%	2.9%

※現在取得加算

処遇改善加算Ⅱ 4.3%

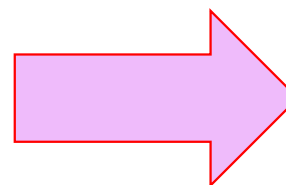
ベースアップ等支援加算 1.1%

→ 6月から新加算Ⅱ取得予定



入居費用の変更について

費用項目	内容	現在
管理費	入居者に対する日常生活支援サービス提供のため	14,000
食費	食事代(800円/日)	24,000
水道光熱費		3,000
介護費用	入居者に対する日常生活支援のための介護費	10,000
家賃		0
合計		51,000



改定額
15,000
30,000
5,000
10,000
20,000
80,000

名称変更について

- ・名称を「有料老人ホーム ありがとう」及び「デイサービスありがとう」と変更したい。

理由：経営者の変更によるイメージUPの更なる向上を図りたい。

運営指導指摘事項と再発防止策について

3/1 運営指導の指摘事項

(1) 契約書・重要事項説明書について

文書保管のしかた・署名の手書き(疑義あり)・契約書の未作成

(2) 利用者の把握・介護記録について

利用日以外の利用者の記録・入浴加算の記録・介護記録の内容

(3) 介護保険請求について

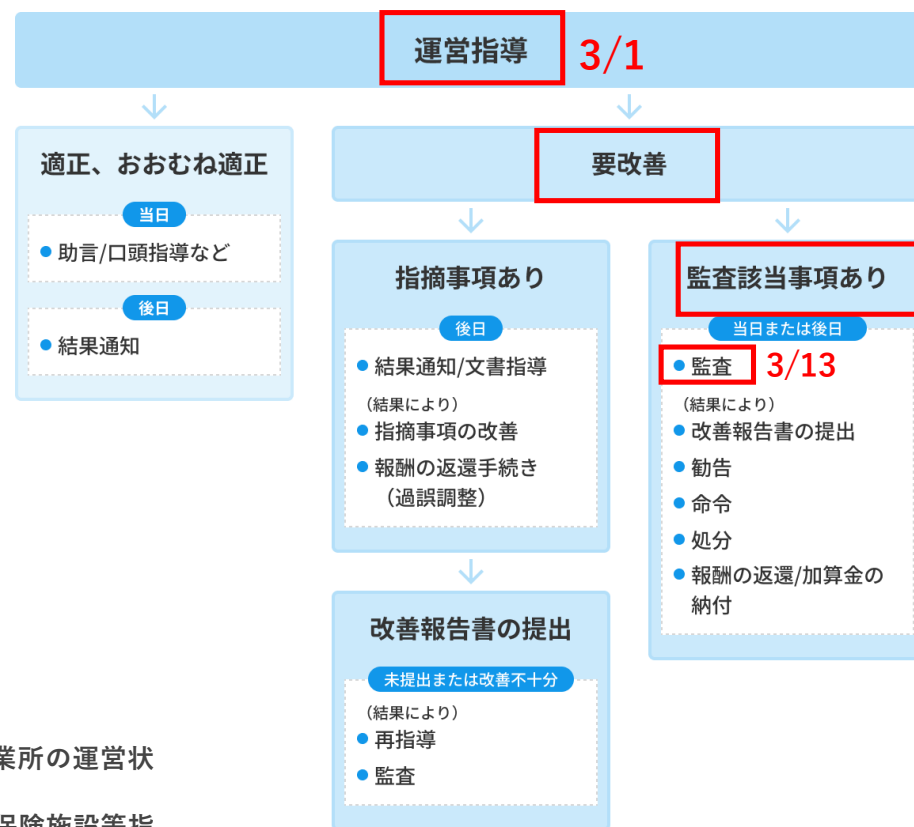
受診日の利用での請求誤り

運営指導とは、事業所のサービスの質の確保と保険給付の適正化を目的に、指定権者（※）が事業所の運営状況を確認するものです。

2022（令和4）年3月以前は「実地指導」と言われていましたが、2022年3月31日に出された介護保険施設等指導指針により、実地だけでなくオンラインなどを活用した指導も認められたことから「運営指導」に変更となりました。※介護サービスの指定権限を持つ自治体。都道府県、政令指定都市、中核市など

運営指導の3つの種類

運営指導は「介護サービスの実施状況指導」「最低基準指導」「報酬請求指導」の3つに分かれます。



食事の提供について

3/1よりクックデリを使用

4月2日(火)

今日の手順書 (調理・盛付け・アレンジ方法) 【スタンダード】

＜今日のオススメ＞

そばは収穫までの期間が短く、寒冷地ややせた土地でも栽培が可能なので丈夫な作物です。
そのため、米不足のときにも主食として食べられていました。

朝食	アレンジで使用する食材	分類	商品名	盛付け目安量	解凍方法	調理時間(分)	スプーン推奨	盛付け時注意事項	
		主菜	ウインナーと野菜のカレー煮	70g	湯煎	15	●		
		副菜	人参しりしり	40g	湯煎	10			
		副菜	キャベツと青さのナムル	40g	冷蔵※				
		具	汁具 (大根・玉ねぎ) (10人前)	10g	湯煎	10			具なし献立にはつきません
昼食	アレンジで使用する食材	分類	商品名	盛付け目安量	解凍方法	調理時間(分)	スプーン推奨	盛付け時注意事項	
		キット	冷凍そば	1玉	茹でる	1		茹でた後、水でしめる	
		キット	天然だしパック	200g	煮出し	15		1袋に対して水2800mlを沸騰させる⇒天然だしパック投入後中火で15分煮出す (お好みで調味料や水の量はご調整ください)	
		キット	山芋とろろ (だし入り)	30g	冷蔵※				器に盛り付ける
		副菜	やわらか鶏肉の天ぷら	35g	湯煎	15			1人前目安: 1~2個
		副菜	みかんなます	30g	冷蔵※				
		デザート	ぶどうジュレ	40g	冷蔵			●	具なし献立にはつきません。冷蔵解凍もしくは約4℃の水水で解凍してください。(流水解凍では食感が損なわれるため)クラッシュしてから盛り付けて下さい。
夕食	アレンジで使用する食材	分類	商品名	盛付け目安量	解凍方法	調理時間(分)	スプーン推奨	盛付け時注意事項	
		主菜	ぶりの甘酢あんかけ	1切	湯煎	10		身崩れ注意	
		副菜	干豆腐と野菜の煮物	40g	湯煎	10			干豆腐を軽くほぐし、よく混ぜて盛り付けてください。
		副菜	ブロッコリーのおかかマヨサラダ	40g	冷蔵※				
		具	汁物の具(キャベツ、揚げ)	11g	湯煎	10			具なし献立にはつきません

メリット:

- ・ 献立を考えなくて済む。
- ・ 調理が大幅に軽減。
- ・ 栄養価の計算された食事が提供できる。
- ・ 船便に大きな影響を受けるが、来てしまえば1週間分の食事が確保できる。

デメリット:


- ・ 費用が増大。
- ・ 慣れないことなので、職員が手間取る。
- ・ 船便に大きな影響を受けるため、欠航時の食材確保が困難。



デメリットへの対応

- ・ 全スタッフへ調理のデモを実施
- ・ ミーティングで意見交換し改善点の検討
⇒ 急な変更であったが前向きに協力してくれている。
- ・ 食事代の改定



A black and white photograph showing two hands clasped together. The hand on the left is younger and smoother, while the hand on the right is older, with visible wrinkles and veins. The hands are positioned in a way that suggests support, care, or a firm handshake. The background is a plain, light color.

4. 意見交換

意見交換

○F様

- ・資料を見て利用者様のことを考えながら対応をされているのが伝わってきた。運営指導については結果を踏まえて適正な運営を行って欲しい。今後の対応についての回答を頂きたい。
⇒デイサービスの記録についてはタブレットを活用し日々の記録を行っていく予定です。
- ・人材不足に伴いショートステイの縮小など起きており町を上げて取り組まないといけないと考えている。R6年度から初任者研修など町が一部助成し開催できるように予算が通っている。
⇒弊社には人事部がある。雇用するには時間とコストがかかるので離職しない工夫や、HPの活用、今後は介護員養成研修事業を考えている。それが地域貢献に繋がるのではと思っている。

○エ様

- ・民生員としてできる事は何かありますか？
⇒地域の行事などの活動に参加し交流を図る必要があるので今後ご協力いただきたい。相談先に迷ったり地域で困っている人がいれば相談してください。

意見交換

OB氏

- ・スタッフの高齢化が進んでおり若い人は入職しても定着しない。イメージの改善のためにも高校へ出向いて介護の話をしたりして知ってもらいたい。
 - …山田民生委員) 体験学習やアルバイトなど行ってみるのいいのでは。
 - …森山課長) 西之表市や南種子が県と一緒に高校生や島外向けにアピールCD作成など行っていた。
- ⇒人口動態を見ると働き手不足は想定内なので大規模化するかICTの活用しか方法はない。
貴重な人材だと自覚してもらい、最大限にその力を発揮してもらえるように業務改善をしている。




5. 次回開催日程

2015

次回開催日程

9月頃を予定しています。

今回は運営を開始して間もないため事前にご意見を伺い資料作成が出来ませんでした。次回は8月初旬に推進委員の皆様や利用者とそのご家族様からお意見を集約した上で段取りを進めていきます。



貴重なお時間・ご意見ありがとうございました

アットホーム